
生徒会長のウィークポイント

dandyy

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

生徒会長のウイークポイント

【著者名】

NZマーク

dandy

【あらすじ】

「2011年7月にアナログ放送は終了します」記念です。……あらすじか?これ

(前書き)

とつあえず、ギャグなのか、マジなのか、わかりませんが、思い付
きです

白皇学院の生徒会室。そこは、生徒会のメンバーのホームグラウンドとも言ひべき場所。出入りは生徒会のメンバーのみ、のはずなのが……

その生徒会長、桂ヒナギク。ピンクの長い髪がやや濡れている。今朝は雨。家を出た時にはそういうものなかつたのだが、急に降られて急いで来たのだ。

少し不機嫌な面持ちで生徒会の扉の前まで到着。いつものようにホームルーム前に仕事を片付けてしまおうかと、扉に手をかけた。その時、中から聞き覚えのある声がした。

「へー。花菱さんが持つてないなんて、意外でしたよ」

「まあな。部活の関係で、ないんだよ」

「そう言えば花菱さんは動画研究部でしたね。だからないんですか」

「ああ。昔の頃のが残つてるから、新しいじゃ合わないんだよ」

「なるほど。それより、ヒナギクさん遅いですね」

「ああ。こつもはこの時間にはいるんだがな……」

どうやら、中には三千院家の執事、綾崎ハヤテと生徒会メンバー花菱美希のようだ。ヒナギクは、なぜハヤテがここにいるのかが気になり、会話を聞くことにしてみた。

「でも、本当に最近は薄くて、べつたんこになつてきてませんか？」
「確かに」

「横に薄いというか、これから厚みがますます減るんじゃないですか？」

「どうかなあ。私は気にならないな。だつて……」

ガチャ

話が盛り上がりってきたところで、今までひとつそり聞いていたヒナギクが入ってきた。今の会話を聞き、さらに機嫌が悪い。
そんなことなどまったく知らないハヤテ。いつものようにヒナギクに接する。

「おはようござります、ヒナギクさん。実は、お譲さまのことどうぞ
よつと相談が……」

「……………つたわね」

「え？」

「薄くて、ぺったんこで悪かつたわねーハヤテ君のバカーー！」
「ギヤーー！」

ハヤテは怒るヒナギクにボッ「ボコにされてしまった。コンプレックスの話に間違われてしまつとは災難だなと、同情する美希であった。

(後書き)

執筆時間、15分。思い付いた理由は、すばり、畠健一郎先生のバ
ックステージの「マママンガ（ハイギュアのやつ）」とかけまして、
完全地デジ化まであと1年と解いたら、こんな作品の出来上がり
！ヒナギクファンの皆様、申し訳ありません。けど、私はどちらか
と言えば、乳のほうが好みです。乳は稀少価値だ！ステータスだ
！なーんてな

とりあえず、読んでいただきありがとうございました！また、こ
んなほのぼの系（なのかな？）の話をかけたらいいなーんてな

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7885m/>

生徒会長のウィークポイント

2010年10月10日01時21分発行